

平成22年度事務事業実績及び前期4年間取組評価表

事務事業名	林務課合同事務所事業	会計	一般会計	事業No.	429	施策順No.	11-035
		事業種別	政策・その他	予算科目	6-2-2-10-1		
政策	1 多様な産業が発展できる経済力の強いまちづくり			課等名	林務課		
施策	11 事業者自らが実施するパワーアップ活動			事業期間	開始	19	終了

1 事業の目的

事業の目的は「対象」を「意図」した状態にすることです	対象	林業関係団体及び林業関係者						A十分達成した Bどちらかといえば達成した Cどちらかといえばできていない Dほとんど達成できていない
	誰、何に	具体的な数値で表すと(対象指標)	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	
		林業関係団体数(団体)		44	44	44	44	
	意図	林業の活性化が図られる						
対象をどう変えるか	事業の成果を具体的な数値で表すと(成果指標)	19年度実績	20年度実績	21年度実績	22年度目標	22年度実績	23年度目標	目標達成度
	林業生産額(億円)		6.9	5.3	7	県6月末公表	7.5	B
22年度の目標達成度に対する振り返り【政策的事業のみ評価】		地元産材の流通が少ない。林業における地域経済の活性化が急務。						

2 手段(具体的な取り組み内容)

事業の制度(仕組み)説明	林務課合同事務所運営経費 合同事務所を設置したことによる追加経費 業務を円滑にするため、事務所周辺に公用車駐車を確保するための経費		
	事業内容	名称	活動量・単位
22年度事業内容	林務課合同事務所別枠経費(配置職員数 9名) 1 事務所賃借料 電気料、水道料、パレットストーブ燃料、電話料、インターネット・ケーブルテレビ利用料、電話リース料、コピーリース料、自治会費 2 林務課公用車3台分の駐車場借上げ(残り1台は本庁駐車場に置く)	1 事務所・倉庫面積 事務所経費 2 駐車台数	1 71.82㎡ 一式 2 3台
23年度実施計画	林務課合同事務所別枠経費(配置職員数 9名) 1 事務所賃借料 電気料、水道料、パレットストーブ燃料、電話料、インターネット・ケーブルテレビ利用料、電話リース料、コピーリース料、自治会費 2 林務課公用車3台分の駐車場借上げ(残り1台は本庁駐車場に置く)	1 事務所・倉庫面積 事務所経費 2 駐車台数	1 71.82㎡ 一式 2 3台

3 事業コスト

事業費	特定財源	(千円)	22年度予算額	22年度決算額	23年度予算額	特定財源内訳、補足事項
	国庫支出金					
	県支出金					
	起債					
	その他					
一般財源		2,797	1,622	2,527		
計(A)		2,797	1,622	2,527		
正規職員所要時間						
臨時職員等所要時間						
人件費計(B)			0			
トータルコスト A+B			1,622			

4 事業に対する市民や議会の意見

設置についての検証が求められている。
--------------------

5 行財政改革の取組内容【経常的事業のみ評価】

行財政改革の取組区分	【記載不要】	具体的な取組事項	【政策的事業のため記載不要】
21年度決算と比べての効果額(千円)	【記載不要】	効果額説明(算出根拠)、特殊要因	【政策的事業のため記載不要】

6 前期4年間の取組評価(総括)

上位の施策への結びつき	上位施策の目的	事業者等が出荷額等を高める活動をする	施策の成果指標又はムトス指標	林業生産額(億円)	経済的自立度(%)
この事務事業は施策の目的達成にどのように貢献しましたか	4年間の振り返り	同じ建物内にて、事務を連携した。			
	後期に向けた課題	情報の共有化と、課題解決途の協議が必要。			
この事務事業の成果を向上させるためにどのような工夫をしてみましたか	4年間の振り返り	日々の面談にて、課題解決や見通しなど、業務に生かした対応ができた。			
	後期に向けた課題	更なる連携の強化。			
コストを削減するためにどのような工夫をしてみましたか	4年間の振り返り	コストを最小限にするように、維持管理してきた。			
	後期に向けた課題	事務等の合理化。			
受益者負担の程度、市が関与する程度は適切でしたか	4年間の振り返り	施設費用に関して、一定の費用負担をしている			
	後期に向けた課題	特になし			
多様な主体の役割の発揮状況 ①その主体は誰で、どのような役割を果たしましたか。 ②その主体が役割を発揮するために、行政はどのような働きかけをしてみましたか、又は、配慮してみましたか	4年間の振り返り	森林組合を中心に、森林や林業に関係する各種団体等と関連が深まり、連携に進展があった。			
	後期に向けた課題	林業団体とのさらなる連携強化。			
全体を通じて	4年間の振り返り	林業を再生していくための、行政と森林事業者との協働により、産業経済の活性化に共に向かうことができた。			
	後期に向けた課題	林業と住宅建築等を「つなぐ」仕組みを検討していく。			

7 「対象」「意図」「結果」の関係の確認

事務事業を統合・分割する必要はありますか	ない	対象や意図を修正する必要がありますか	ない	成果指標や指標値を修正する必要がありますか	ない
----------------------	----	--------------------	----	-----------------------	----

8 総合評価・次年度の事業の方向性改善の計画

<input type="checkbox"/> 完了	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 別事業に統合	<input type="checkbox"/> 休止廃止	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 目的見直し	<input type="checkbox"/> 事業のやり方改善
-----------------------------	-----------------------------	-----------------------------	---------------------------------	-------------------------------	--	--------------------------------	-----------------------------------